

テーマ

つながる力を育てよう

目標

子どもたちと保護者・地域の人々が、ふれあい行事や地域交流事業を通して、子どもたちが地域とつながる力を育てる。

今年度の取組紹介

「つながる力」をスローガンに、継続活動の充実を図りました。

地域ぐるみの子育て運動を実践・展開しながら、友だち、家族・先生・地域に住む周りの人たちとのつながりを大切にし、地域の一員としての自覚を持てる人間育成の手助けをしてきました。

代表コーディネーター会議では、それぞれ担当校の現状について情報交換を行い、お互いが無理のない活動が続けることで、事業全体が定着してきたとともに、活動の裾野も広がってきたと思われます。

幼稚園、小学校の取組においても、地域の方にたくさん助けていただき、中学校で生徒が地域に恩返しをするなど、つながりのある事業展開を目指してきました。

昨年同様、中学生が地域の行事（西大寺夏祭り・高齢者サロン・伏見まつり・西大寺北防災訓練・あやめ池文化祭）に参加・協力することで、お互いの顔が見える良い機会となりました。



今年度のまとめ

地域と学校の絆は、人と人とのつながりから始まります。それにより、子どもたちに地域を愛する心が生まれ育ってきています。また、中学生が地域で活動することにより、地域の方に中学生をより知ってもらい理解していただくことで、安心と信頼が深まっています。

子どもたちと地域の人々が、協働してよりよい環境を作り出すふれあい作業を通して、子どもたちにつながる力が育つとともに、それぞれの取組が実を結び地域に根付いた取組となってきました。

このことが、幼稚園・小学校・中学校で活動するコーディネーターやボランティアが、増加していることにつながっています。

来年度に向けて

地域で育った子どもたちが、いずれその地域を支える人材となって地域に定着できるように、より良い地域連携の仕組みづくりを、来年度も更に模索していききたいと思います。

そのために、子どもたちが自治会活動に積極的に参加・参画するとともに、地域に根付き、地域のために働き、地域のために貢献できる人づくりを進めていきたいと考えています。

テーマ

つながる力を育てよう

目標

みんなの手で、美しく誇りの持てる学校・地域を作り出し、人と人とのつながりを深め、地域と連携した生徒主体の取組を推進する。

今年度の取組紹介

本年度は、生徒会活動やボランティア活動を活性化させ地域から信頼される、開かれた学校づくりを目指して取組を進めました。

地域と学校が協力したふれあい行事（ふれあい文化発表会・ふれあい体育大会）を開催しました。

また、生徒が地域の支援を受けるだけでなく、外に目を向け、地域のために貢献する活動として、地域ボランティア活動（野神緑地公園の清掃）や地域交流事業（西大寺夏祭り・伏見まつり・西大寺北防災訓練・あやめ池文化祭）の活動に積極的に参加することができました。

一方、地域からはコーディネーターを中心に環境ボランティア・図書ボランティア・部活動巡回ボランティアの活動に取り組んでいただきました。

これらの活動について、共育プロジェクト「響」と称する地域合同会議を年間3回開催し、活動内容について報告するとともに、取組について意見交換を行い、情報共有の機会を持ちました。



今年度のまとめ

これまでのふれあい行事や地域交流事業・地域ボランティア活動の継続的な取組を進めてきたことにより、学校と地域の連携・協働した取組が進んできたといえます。その中で、生徒の参加も年々増えてきたとともに、地域とのつながりも深まり、地域からの信頼も生まれてきています。

また、環境ボランティアの活動により、学校の教育環境が美しく整備され、図書ボランティアでは本の修理やブックカバーかけなど図書の充実が図られました。さらに、部活巡回ボランティアの活動により、生徒が安心・安全に部活動に専念することができました。

これまでの取組を通して、生徒の取組を地域で支援しようとする機運が高まってきています。

来年度に向けて

学校への支援だけでなく、生徒が主体的に地域に出向き、ボランティア活動や交流事業に積極的に参画する取組を進めていきたいと思います。

また、保護者や地域の人々が学校のボランティア活動に積極的に参加できる体制づくりを進め、啓発活動を通して、学校と地域の良好な関係づくりを進めていきたいと考えています。

テーマ

いきいきわくわく、伏見パワー満タン ～伏見でふれ合い、学び、育つ伏見っ子～

目 標

- ・ 伏見の町の、人、物、文化、歴史に興味を持ち、学習に生かす。
- ・ 多くの地域の人々と関わることで、人の思いや願いに気づき、人の気持ちを分かろうとする態度を身につける。
- ・ 伏見の町のよさに気づき、郷土愛を育み、伏見の町に貢献しようとする。

今年度の取組紹介

民生委員・児童委員協議会、自主防災協議会、PTA、学校等の連携・協働のもと、「子どもの笑顔が地域を笑顔に」をスローガンに、伏見まつりを実施しました。防災訓練や模擬店、でんでん太鼓づくりやゲームの体験教室等、盛りだくさんの内容で、延べ約1,200名の参加がありました。地域の方々と子どもたちの笑顔があふれる充実した一日となりました。



本校では、教科等の年間指導計画に基づき、子どもたちの活動のお手伝い、体験学習の補助、ゲストティーチャー等、地域の方々と子どもたちが幅広く関わる機会を設けています。地域の方々からは「子どもの笑顔に元気付けられた」「子どもたちがより良く学び合う姿をみられて良かった」等の感想を得ています。また、子どもたちからも「優しく教えてもらってうれしかった」「また来てほしい」等の声が聞かれ、それぞれの場面で、学習活動が大変効果的なものになっています。

今年度のまとめ

伏見まつり等を通じて、地域の方々と学校との連携や協働の姿を、具体的な形で子どもたちに還元することができました。

上で取り上げたことの他に、地域の方々をメンバーとするグループによる絵本の読み聞かせ、子ども見守り隊による校区の見守り活動、生け花や学校園への草花の植え付けによる学校環境整備等を通年にわたり行いました。一連の活動は、地域の方々と子どもたちとの交流を活性化する上でも、また、子どもたちの安全を確保する上でも、学校教育活動推進の大きな支えとなりました。

来年度に向けて

多くの地域の方々に取組の様子を知っていただくためにも、より良く情報発信を行っていく必要があると考えています。

事業を効果的かつ継続的に進められるよう、地域人材を確保していく必要があると考えています。

テーマ

出会いと体験から豊かな学びを

目標

地域の人とともに豊かな学びを支える価値ある体験活動に取り組む。

今年度の取組紹介

本校は、今年度学校創立50周年という節目の年を迎えました。

今年度は「出会いと体験から豊かな学びを～地域ぐるみの子育て～」をテーマに本事業に取り組んできました。そのテーマ通り年間を通じて地域の方々に多くの協力をいただき体験学習を深めることができました。地域の方々との関わりを深め、身近な地域から学ぶことで児童の内面を豊かにする価値ある活動にしていきたいと考えてきました。そしてあやめ池小学校・校区に誇りをもち、あやめ池地域を大切に子どもを育てていこうと考えました。



11月の学校創立50周年記念式典では、たくさんの方々をお招きし、みなさんで50年のお祝いをしました。そして記念催事では、松本真理子様のマリンバコンサートを奈良県文化会館で開催し、すばらしい演奏に会場が一体となり華やかなムードにつつまれました。毎月の「お話の会」では読書活動（読み聞かせ等）をしていただき、お話の世界に浸るすばらしさを教えていただきました。また一年を通じて図書ボランティアの方々に活動では本の整理や修理をしていただきました。

1年生は地域の高齢者の方々と昔遊び交流をし、今ではあまり遊ぶことのない竹とんぼやお手玉等を体験しました。昔あそびの楽しさを感じ、地域の方々の温かさに触れることのできる体験学習となりました。さらにEM（有用微生物）団子づくりやあやめ池文化祭への参加は今年度で四年目になります。年々家族で参加する人数も増え、地域の方々とのつながりが強くなってきたことを実感します。



今年度のまとめ

学校創立50周年事業に関わって多くの方々とのふれあいがあり今年は例年以上に地域と学校との関わりが深い一年になりました。事業に向けて何回も地域のみなさんと話し合いを重ね、また環境整備も学校、地域一体になり行いました。50年のまとめをする一方、次の50年に向けてのスタートを切る年にもなりました。他の事業面では「お話の会」の方々の読み聞かせ、3年生の花器づくり、4年生の筆作り等、子どもたちは地域の方々の指導のもと、様々な体験活動から自分たちの学校・地域を大切にしようとする意識を高めることができました。

来年度に向けて

学校・地域・家庭がさらに手を携えることで「地域ぐるみの子育て」をより推進しなければならないと考えます。地域の方々に学校に来ていただくだけでなく学校から積極的に地域に出て人々とともに活動することが大切です。学校は地域のニーズにもしっかりと応えていかなければなりません。子どもたちが自ら進んで地域と関わる意欲・態度を高める取組を推進することが今後の課題となります。

テーマ

40周年からの再挑戦ー学んだことを生かしてこそ、学力！ー（いのち・かんきょう・あいさつ）

目標

生きた学力の発揮と向上を目指す。地域の方との連携をより綿密にする。（いつも私たちの「命」を見守って下さっている行動への感謝）

今年度の取組紹介

- ◆1月21日（水）に、地域在住の金春穂高様他10名をお招きしての「能体験鑑賞会」。前半は、鼓や太鼓に謡、演舞などを参加した5年生全員がそれぞれを体験しました。後半は、実際の舞を鑑賞した後に質問を多数し、満足の中での閉幕でした。参加した保護者（地域在住の方）からは「…前略…子ども達が、いろんな楽器に触れる機会があるということは、本当に貴重な事だと思います。子ども達にとっては思い出の一つかも知れませんが、大人になっても体験できたことを、次の子ども達に伝える事もできますし、それがきっかけで興味を持って能に関係する事を学ぶ事になるかもしれません。この地域ならではの体験をありがたく、地域の皆様に感謝いたします。次の子ども達にも是非体験鑑賞してほしいと思います。」とのご意見、ご感想をいただきました。
- ◆10月9日（木）には、今年新たに実施した「いのちの講習会ー盲導犬ー」で、関西盲導犬協会からご来校いただきました。ウイールの穏やかな態度と、えも言われぬ優しい雰囲気の中で3年生の子ども達は固唾を飲んで、盲導犬協会の指導員の方のお話に聞き入っていました。この講習のおかげで先般のニュースで車内の盲導犬に対し、危害を加える卑劣な行為を断じて許さない心が育まれていくと確信しています。



今年度のまとめ

- ◆昨年度の「子ども達が地域行事にあまり参加していない」と言う反省から、今年度は「放課後子ども教室」や「わんぱく広場」などと連携を深め、地域をより近く感じさせてきました。その成果として行事への参加が増えたり、いつも安全に携わってくださっている方と知り合えたりする絆が強まりました。つまり、学校評議員さんも評価くださいました「あいさつ」が多くなったということです。また、保護者を含めた地域の方から、「伝統芸能一能一」に対する理解と愛情、及びこの事業の継続希望が出てきたことです。その声に、温もりも感じました。

来年度に向けて

- ◆地域の中に、子ども達や学校へ愛情を持って関わってくださる方がこんなにも多くおられるので、今年以上に地域へ発信していく必要があります。ただ、防犯や安全の関係でやみくもに進められないため、地域コーディネーターの方との連携連絡を、より深く確かなものにしていきたいです。

テーマ

いきいき・わくわく・のびのび伏見っ子

目標

- ・地域の自然や地域の人々とかかわる中で、優しい心や感動する心を育む。
- ・日本の伝統文化を知り、昔の人の思いに心をよせ、命の大切さを感じる。

今年度の取組紹介

1. 地域の高齢者サロン「伏見いきいき広場」の方々と交流会

歌やわらべうた遊びをしながら、心温まる触れ合いをしました。活発に生活する子どもたちを目の前にして、一人一人の成長を感じ、幼稚園や幼児教育への理解を深めていただくことができました。子どもたちから手作りの手紙を渡すと、会話が生まれ互いに笑顔になる姿が見られ、人の温かさを感じ優しい気持ちをもつ機会となりました。



2. 親子バケツ稲作をやろう

自分たちで育てた稲からお米ができることに関心を持ち、バケツ稲作に取り組みました。地域の方の話や農協の方の話を聞きながら、



土曜参観に家族で植えました。毎日、水の様子や稲の生長していく様子に、親子で興味をもつことができました。苗から生長し米を収穫し、おにぎりを握る経験をしました。日本の古来からの米作りに関心を持つと共に、命を感じ、米一粒一粒を味わう姿が見られました。自分で育てる喜びを感じる機会となりました。



今年度のまとめ

地域とのつながりを大切に取り組んできました。子どもたちは地域の人々に見守られながら育ってきました。地域の教育力「ABCで遊ぼう」「高齢者との交流」を保育に取り入れたことで、子どもたちの経験に広がりを見せたと同時に地域の方とのつながりを感じることができました。核家族化や地域社会のつながりの希薄化、保護者の子育ての不安や悩みが多様化している中、地域みんなで子どもの安全や子どもが健やかに育っていくために取り組んでいただきました。また、バケツ稲作や親子栽培など地域の方の話を聞き、親子で一緒にすることから話がはずみ、育てた米でおにぎりを作ることを通して命を育むことに気づくことができました。

来年度に向けて

子どもたちが、いきいきわくわくした気持ちを高め、様々な活動を体験や経験していくために、今後も、地域の人材や教育力を大いに取り入れることで、人の温かさを感じ、自分の住んでいる町の良さを知っていくと考えます。幼稚園が地域とつながり、子どもたちの心の豊かさにつながっていくような取組を進めていけるように努めていきます。

テーマ

園・家庭・地域 笑顔でつながう手と心

目標

地域の教育力を生かした様々な体験活動を通して人との触れ合いを大切にする

今年度の取組紹介

◆ **菜園活動（玉ねぎ苗の植え付け）**

・地域の農園ボランティアの方から除草・追肥・害虫駆除などについてアドバイスをいただき、幼児と共に畑で野菜作りをしています。幼児は、「畑の先生」と親しみをもち、植え付けや収穫を手取り足取り教えてもらいながら会話を楽しみ、菜園活動に取り組んでいます。

6月にはカレーパーティー、12月には味噌汁パーティーを計画し、農園ボランティアや地域の方々を招待し、収穫の喜びを味わうことができました。

◆ **サッカーで遊ぼう**

・幼児のしなやかな心と体づくりをめざして、取り組んでいます。パワーあふれる指導者と思いきり体を動かすことは、幼児にとって貴重な経験となりました。

ストレッチ・鬼ごっこから無理なく運動量を増やしていく活動を継続することで、自分たちだけで遊びを創造したり、頑張る気持ちが育ったりしています。



今年度のまとめ

- ◆ **菜園活動**—地域の方と一緒に育てた野菜をカレー・味噌汁・塩茹で・スープなどに調理して食べることで食べず嫌いや野菜嫌いを克服したり、家庭に持ち帰って家族で食べたりすることで、親子の語らいが増えたり食育への意識が高まっています。
- ◆ **サッカーで遊ぼう**—運動遊びについては個人差が大きく最初は苦手意識から抵抗のあった幼児も楽しく参加できる内容で、いろいろな動きを楽しむことができました。
- ◆ **ちびっ子探検隊**—地域の方が隊長となり毎月1回地域探検を実施しています。年長児の保護者にも数人ずつ参加してもらうことで、自分たちの住む地域の自然環境のすばらしさと愛着を感じる機会になっています。

来年度に向けて

- ◆ 今後も家庭や地域の方々と心を通わせながらつながりを深めていきたいと思います。地域の方との連携を密にしながら地域の教育力を積極的に取り入れ、ホームページや地域の掲示板などの活用も含めて園教育への理解と協力が得られるように努力したいと思います。

テーマ

「学ぶ」「活動する」「生き生き輝く」子ども

目標

地域・人との関わりの中で、意欲的な子を育てる。

今年度の取組紹介

「お茶を楽しもう」 ～地域のゲストティーチャーに学ぶ～

場に応じた態度、簡単な礼儀作法を身に付け、日本の伝統文化の継承にも繋がればと願い、5歳児が年3回茶道を教えてもらっています。最初は正座するのも大変でしたが、お茶の点て方や立ち居振る舞い、言葉の掛け方等を教えていただき、ゲストティーチャーの温かな人柄に触れながら、徐々に姿勢良く座り、お点前ができるようになりました。初めての経験でしたが、興味を持って、意欲的に取り組む姿がみられました。1月には親子でお茶会を行いました。感謝の言葉を交わしながら、親子のよい触れ合いになりました。「初めてお茶を点てました。子どもと一緒に普段できない経験ができて、よかったです。」「子どもが行儀よく座り、礼儀正しくして成長を感じました。」と子どもの成長を喜ぶ感想を頂きました。



「焼きいもパーティー」 ～地域の方々との交流～

「栽培教室」で地域のゲストティーチャーに野菜づくりを教えてもらっています。11月には、さつま芋を収穫し園庭で焼きいもをしました。普段お世話になっている地域の方々をお招きし、感謝の気持ちを込めて子どもたちは「歌と合奏」を披露し喜んで頂き自信にも繋がりました。和やかに話しながら一緒に味わい、温かな気持ちが育ちました。



今年度のまとめ

地域のゲストティーチャーによる「栽培教室」「お茶を楽しもう」「英語を楽しもう」「習字を楽しもう」「サッカーを楽しもう」「おはなしこんにちは」や人形劇や腹話術等、地域の教育力を活かした活動は、子どもたちの興味、関心を引きだし、意欲的に活動する姿ともなり豊かな学びに繋がりました。また、カレーパーティーや焼きいもパーティー、お年寄りとの触れ合いの中で感謝する心やコミュニケーション能力が養われ、豊かな心を育むことに繋がりました。また、PTA、地域ボランティアによる園庭整備もボランティアの人数も増え、ふれあいの輪を広げています。

来年度に向けて

未就園児保育（なかよし広場）を充実させていきたいと考えています。また、主体的に遊べる園環境の見直しと整備をしていくとともに、体験活動を見直しも含め、より充実させていきたいと考えています。